

「令和8年度屋台プロモーション業務委託」に関する質問と回答

2026年6月16日

NO.	質 問		回 答
	項 目	内 容	
I I	「企画提案募集要項」P.1 業務委託の概要 (2) 目的	<p>貴市が認識し課題と捉えていらっしゃる、『イメージの固定化』および『屋台体験のギャップ』について、可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>本市が課題として認識している「イメージの固定化」とは、福岡市内にある3つの屋台街（天神・中洲・長浜）それぞれの特徴や楽しみ方が十分に伝わらないまま、特定の屋台街や一部の印象が福岡市の屋台全体のイメージとして受け取られてしまう状況です。その結果、訪問先の選択肢の偏りや特定エリアへの利用集中、各屋台街間の回遊性の低下につながることを懸念しています。</p> <p>また、「屋台体験のギャップ」とは、例えば、屋台体験を希望する観光客の中には、屋台ならではの雰囲気やゆっくり楽しみたいというニーズがある一方で、利用が集中する時間帯やエリアでは、混雑状況や営業スタイル等により、必ずしもその期待どおりの過ごし方ができない場合もあると認識しています。こうした点が、期待と体験との間にギャップが生じる一因になり得ると考えています。</p>
		<p>また、これまでに旅行誌等を作成した際に、十分に表現・反映ができなかった点や、発信しなかったものの実現に至らなかった内容等が他にもございましたら、あわせてお聞かせいただけますでしょうか。</p>	<p>これまでの旅行誌等による情報発信において十分に表現・反映できていない点としては、3つの屋台街それぞれの特徴や楽しみ方の違い、各屋台街を比較しながら選択・回遊できる視点、観光客のニーズに応じた情報整理などが挙げられます。旅行誌等からの掲載依頼においては、あらかじめ誌面構成が一定程度固まっている場合も多く、結果として個別の屋台紹介が中心となり、3つの屋台街全体の特徴や相違点を十分に伝える構成とすることが難しいケースもありました。本市としては、観光客の選択肢が広がるよう、3つの屋台街の特色が適切に伝わる情報発信が重要であると考えています。</p> <p>なお、上記は本市が現時点で認識している課題の例示であり、提案に当たっては、これらに限らず、受託者の知見や分析に基づく効果的な視点・手法についても併せてご提案ください。</p>